

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大阪電気通信大学寝屋川キャンパス	階数	地上3F
建設地	大阪府寝屋川市初町	構造	S造
用途地域	第1種住居地域・準住居地域、準防	平均居住人員	550 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,600 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年8月 予定	評価の実施日	2019年5月17日
敷地面積	49,463 m <sup>2</sup>	作成者	竹中工務店設計部
建築面積	7,943 m <sup>2</sup>	確認日	2019 年5月17日
延床面積	18,238 m <sup>2</sup>	確認者	竹中工務店設計部



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 82% (37 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 82%

④上記+ 82%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質 Qのスコア = 3.2**

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.2

音環境	3.4
温熱環境	2.6
光・視環境	3.6
空気質環境	3.6

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.5

機能性	3.7
耐用性	3.1
対応性	3.6

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.0

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	4.0

**LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.8

建物外皮の	5.0
自然エネ	4.0
設備システ	3.6
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2

水資源	3.4
非再生材料の	3.1
汚染物質	3.7

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.4

地球温暖化	3.7
地域環境	3.4
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	これによりオープン/ベションを可能にする開かれた研究室・実験室や、ものづくり技術の発信拠点となる3Dセンターなど学内外でのより活発なコミュニケーションを促す実学の場を目指します。	<b>その他</b> 特になし。
<b>Q1 室内環境</b>	室内の吹き抜け部にはハイサイドライトとトップライトにより自然光を室内に導き、自然換気を促す計画としている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 既存棟(食堂、講義棟、図書館)とバサージュを外部デッキで接続することでキャンパス内の往来を活性化し、かつ外部テラスを積極的に設けることで建物内外を繋ぐ一体的な計画としている。
<b>LR1 エネルギー</b>	LED照明、全熱交換器等を積極的に使用し、省エネルギー性に配慮した計画としている。	<b>LR3 敷地外環境</b> 周辺環境に悪影響を与えないよう、建物を低く抑え、かつサイン計画を行う。
<b>Q2 サービス性能</b>	バサージュのほか、学生ラウンジや執務スペース内にリフレッシュスペースなど、計画内に多く共用部を設け、活発な交流が生まれる快適な場となるよう目指した。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	省水型機器を積極的に採用し、節水を図る。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0035

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	大阪電気通信大学寝屋川キャンパス整備						
	建設地	大阪府寝屋川市初町						
	用途/区分	学校(大学等)						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						A	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						3	
③	建物の断熱性						5	
④	エネルギー削減						4	
⑤	自然エネルギー直接利用						○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—

## エネルギー消費量の報告

報告しない

### 【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.7	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.6	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	4.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

### その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項	特になし。	